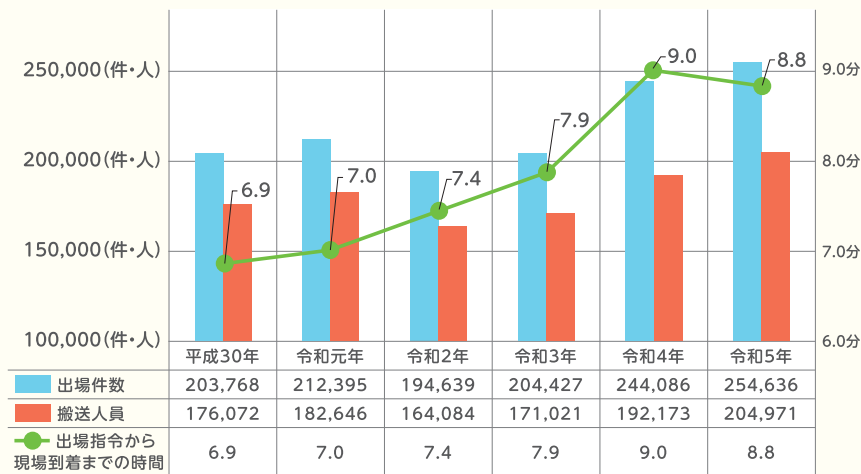
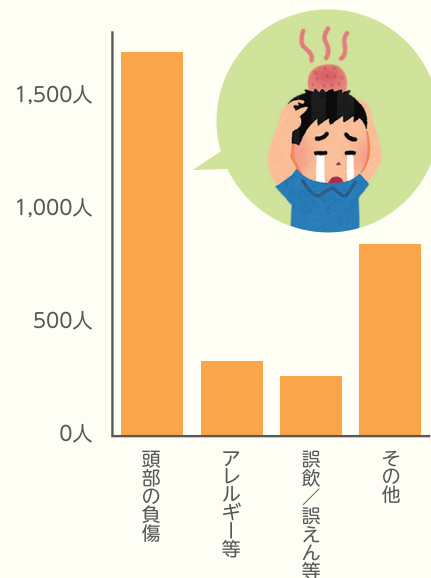


横浜市の救急概況

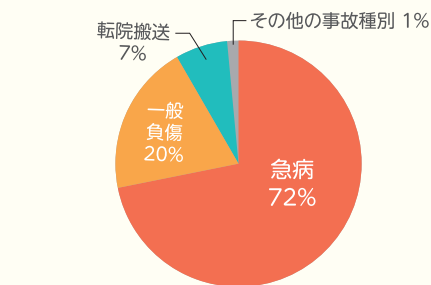
●救急出場件数及び救急搬送人員と救急隊の出場指令から現場到着までの時間の推移



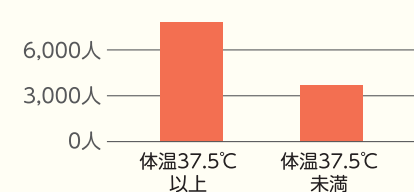
●乳幼児の一般負傷の搬送原因



●乳幼児の事故種別搬送割合



●乳幼児の急病



※令和5年中



よこはま防災 e-パーク

突然の病気やケガを防ぐために予防救急について学ぼう!

ケガの予防対策や応急手当など、救急に関するだけでなく、火災、地震、風水害等、いざという時に備える幅広い知識を動画やミニテストなどのデジタル教材で分かりやすく学ぶことができます。



ジモトガイド



詳しくはこちら



デジタルガイドブック「ジモトガイド横浜市」消防局を発信
こどもに多い急な病気やケガについて学ぼう!

酸化対策でオイルのおいしさ長〜くつづく!

日清オイリオ史上最高の酸化対策
日清 ヘルシークリア

開封後も続く!!
びびり、油っこくならない

ウルトラ酸化バリア

賞味長持ち、サビないオイル
調理時におい少ない

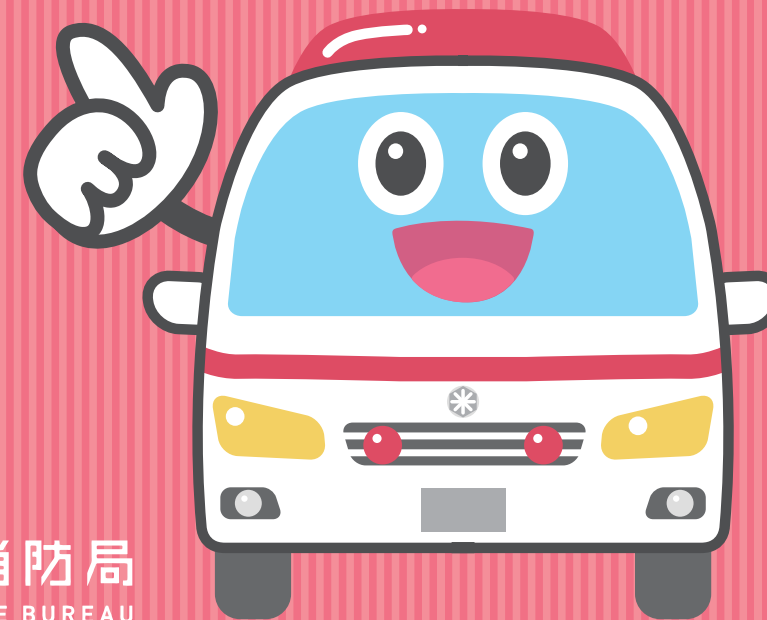
日清オイリオグループ株式会社 <https://www.nisshin-oillio.com>

横浜市消防局救急部救急企画課 / 令和6年8月発行
横浜市保土ヶ谷区川辺町2-20 TEL:045-334-6413 E-mail:sy-kyukyukikaku@city.yokohama.lg.jp

「あんしん救急」 知って予防! 救急車

おぼえておきたい3ステップ

- 1 備える
- 2 相談
- 3 通報



横浜市消防局
YOKOHAMA FIRE BUREAU

ステップ1 元気なうちにしっかり備える!

● 休日や夜間に受診可能な病院を知る手段を知っておこう



市内ウォークイン情報 (横浜市病院協会)

時間外診療を受け付けている
医療機関を検索できます

● 乳幼児の事故を防止しよう

頭部の負傷による救急要請が多い傾向!

抱っこ中の転落、ベッドやソファ、椅子やテーブルからの転落、遊び中に頭をぶつけ、ケガをしています。

抱っこ中の
転落



ベッドやソファ
からの転落



椅子やテーブル
からの転落

遊具からの
転落

事故防止に
ついてはこちら
(こども家庭庁)



● 感染症を予防しよう

発熱をきっかけとする救急要請が多い傾向!

うつり方(感染経路)

病気を引き起こすウイルスや細菌などが、体に侵入する経路には主に次の4つがあります。

飛沫感染(ひまつかんせん)

咳やくしゃみで飛び散った飛沫(しぶき)によって鼻やのどから感染します。

空気感染

飛沫の水分が蒸発し、空気中に長時間漂い、吸い込むことで感染します。

接触感染

手から手、タオルなどを介して感染します

経口感染

水や食べ物などを通して感染します。

予防するには

※咳エチケット/咳やくしゃみが出る人は、他の人にうつさないためにも、マスクをつけるか、ハンカチで口をおおきましょう。

石けんを使った丁寧な手洗いをする。



栄養・睡眠を十分にとり、規則正しい生活をして体力をつける。

流行の時期は人混みをさける。



予防接種をする。



ステップ2 困ったときは、まず相談!

● 急な病気やケガで救急車を呼ぶか迷ったら?

横浜市救急相談センター

シャープ

電話から



7 1 1 9

045-232-7119 年中無休 24時間対応

ダイヤル回線・IP電話からはこちら

救急受診できる
病院・診療所を知りたい

1

番を選択

今すぐに受診すべきか
救急車を呼ぶべきか

2

番を選択

救急受診ガイド

横浜市救急受診ガイド

検索

パソコン・スマートフォンから 救急車や受診の必要性を確認できます

● 症状は軽いが、「交通手段がない」といった場合は

● ユニバーサルデザインタクシーを利用する

広い開口部にスライドステップを備えており、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい一般のタクシーです。※運賃は一般のタクシーと同じです。



ユニバーサル
デザインタクシーMAP

※リンク先の内容等については、横浜市として責任を負いかねます。



ステップ3 こんな時こそ急いで救急車!

突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

意識の障害

● 意識がない(返事がない) またはおかしい(もうろうとしている)

けいれん

● けいれんが止まらない ● けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

● 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

じんましん

● 虫に刺されて 全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

やけど

● 痛みひどいやけど ● 広範囲のやけど

事故

● 交通事故にあった(強い衝撃を受けた) ● 水におぼれている ● 高いところから落ちた

生まれて3カ月未満の乳児

● 乳児の様子がおかしい



その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

● 乳幼児に多い、熱性けいれんの対処法

熱性けいれんの対応

熱性けいれんとは

- おもに6か月から5歳までの乳幼児が、発熱に伴って起こすけいれんです。
- 通常は数分で自然とおさまりますので、慌てずに落ち着いて対応しましょう。

熱性けいれんの注意点

- 大声で名前を呼ばない! ● 身体をゆすらない! 刺激となり、けいれんが長引く場合があります。
- 口の中に物を入れない! 熱性けいれんで舌を噛むことはほとんどありません。噛む力はかなり強いので物や指を入れることは危険です。

けいれんが5分以上続くとき、意識が戻らないときは、**救急車**を呼びましょう!



- 1 慌てず、安全で平らな場所に仰向けに寝かせましょう。
 - 吐きそうな場合は、吐いたものがのどに詰まらないように顔と体を横に向かせましょう。
- 2 けいれんが始まった時間を確認しましょう。衣類をゆるめて熱を測りましょう。
- 3 けいれんの状態を確認しましょう。
 - 腕や足がガクガクしているのか、ギューツとしているかなど **身体の動きに注意!**